

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	1 男女平等意識の促進					担当課	アンフォーレ課 No.1
施策	(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開						
取組	男女共同参画に関する図書・DVD等の収集、貸出						
具体的な取組内容	男女共同参画に関連する図書や関連雑誌、DVDなどを収集・整備し、貸出を行うことで、市民・団体等の自主的な学習を支援する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が、女性関連資料を目にする機会が増え、男女共同参画の認知が深まる。						
指標	女性関連資料の蔵書冊数			指標の出典	図書管理システム「ELCIELO」からの抽出		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>2,650冊</del>					2,650冊
実績	2,150冊	2,364冊	2,464冊	2,510冊			
2年度	活動計画	男女共同参画に関連する図書等の情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進に努める。					進捗状況
	活動実績	女性関連図書の充実に努めた。 R3.3.31現在の女性関連図書数=2,510冊 (内訳) ・367(家庭問題全般)=331冊 ・367.0(女性問題全集等)=66冊 ・367.1(女性運動・女性論等)=110冊 ・367.2(女性史等)=797冊 ・367.3(家族関係等)=770冊 ・367.4(婚姻・離婚問題等)=265冊 ・A367(女性関連郷土資料)=165冊 ・AV資料=6点 上記、女性関連図書の利用に努めた。 男女共同参画の総合情報誌『共同参画』（内閣府・編集／発行、月刊、寄贈）や男性育児雑誌『FQJAPAN』（季刊）を購入し利用に供している。 令和2年度に115冊の図書の購入等を行った。					B
	課題等	男女共同参画に関連する図書等の情報収集を行い、計画的に蔵書冊数を増やすことができた。 また、令和2年度は、115冊の図書を購入し、目標値である2,650冊に向けて順調に推移している。 今後も計画的に蔵書冊数を増やしていきたい。					
	次年度の活動計画	引き続き、男女共同参画に関連する図書等の情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進に努める。					

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		1 男女平等意識の促進				担当課	市民協働課 No.2	
施策		(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開						
取組		男女共同参画に関する情報発信の充実						
具体的な取組内容		男女共同参画に関する情報誌の発行、広報紙・ホームページへ記事を掲載する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		さんかく21・安城と協働して情報誌を発行することで、市民が広く男女共同参画の情報を入手できる。						
指標		情報誌の年間発行回数		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	→					2回	
実績	2回	2回	2回	2回				
2年度	活動計画	男女共同参画に関するさまざまな視点の情報誌を、年2回、さんかく21・安城と協働して発行する。					進捗状況	
	活動実績	2回（10月、2月）情報誌を発行。新型コロナウイルス感染拡大をうけて、緊急事態宣言中の新しい生活様式での働き方、学び方の変化についてアンケートを実施し掲載。公共施設にて配布するだけでなく、市公式ウェブサイト、広報紙にも掲載し、広く市民へ啓発した。					A	
	課題等	今後も様々な世代等に啓発が必要である。						
次年度の活動計画		幅広い世代が興味をもつような男女共同参画に関する内容の情報誌を、年2回、さんかく21・安城と協働して発行する。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	1 男女平等意識の促進					担当課	市民協働課 No.3	
施策	(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開							
取組	男女共同参画イベントの開催							
具体的な取組内容	市民活動団体と市が協働して男女共同参画に関するイベント等を開催する。(週間・月間イベント)							
男女共同参画の視点からの達成目標	さんかく21・安城と協働で開催することで、より市民の視点に沿ったイベント内容となり、多くの市民が男女共同参画の重要性・必要性を認識する。							
指標	男女共同参画関連のイベント参加者数			指標の出典	週間イベント・月間イベント・さんかくカレッジ(セミナー)の参加者数			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度>						530人 (357人)	
実績	485人	361人	425人	117人				
2年度	活動計画	より市民に興味を持ってもらう内容となるようテーマを検討し、週間イベント・月間イベント・セミナー2回を行う。					進捗状況	
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週間イベント：新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止</li> <li>・月間イベント：「子どもの個性も認めよう～知ってる？知っとこ！LGBT～」/オンライン講演/参加者 48人</li> <li>・サテライトセミナー：「発達障害を知ろう！～入門編～」/オンライン講演/参加者 69人 (新型コロナウイルス感染症拡大予防のため2回のうち1回が中止)</li> </ul>					D	
	課題等	新型コロナウイルス感染症のため、会場でのイベント開催が難しい中オンラインで開催したが、不慣れな参加者が多く、カメラや音声を切らずに参加する方が多くみえた。						
次年度の活動計画	オンライン開催とするため、ウェビナーを利用して視聴環境を改善し、ターゲットとなる年齢層を広げ、より広く周知できるよう検討する。							
目標値変更の根拠	<p>月間イベントはへきしんギャラクシープラザでのイベントのため、新型コロナウイルス感染症対策として座席の間隔をあける必要があり、定員502名の50%とする。(251人)</p> <p>セミナーはオンラインで開催する。令和2年度のオンライン開催は過年度の平均参加者数の84%だったので、基準年度(平成28年度)の週間イベントとセミナーの実績人数の84%を仮の人数とし、それぞれ50人と47人とする。</p> <p>本来の目標値は基準年度の実績の110%なので、仮人数251+(50+47)*110%=357人とする。</p>							

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		1 男女平等意識の促進					担当課	市民協働課 No.4
施策		(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供						
取組		出前講座の実施						
具体的な取組内容		市民等の要請に応じ、地域、職場、学校などにおいて男女共同参画に関する出前講座等を実施する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		参加者が講座を通じ、男女共同参画についての理解を深める。						
指標		出前講座の実施回数			指標の出典		-	
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>1回</del>					2回	
実績	0回	1回	1回	0回				
2年度	活動計画	市民や市民団体への出前講座を実施する。					進捗状況	
	活動実績	新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施。					D	
	課題等	依頼者が増えるように、興味を引く内容を検討する必要がある。						
次年度の活動計画		新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、市民や市民団体がオンラインでも参加できる出前講座を実施する。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	1 男女平等意識の促進				担当課	市民協働課 No.5
施策	(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供					
取組	人材育成のための講座等の開催					
具体的な取組内容	方針・施策決定の場に参画できる女性人材を計画的かつ継続的に育成する。					
男女共同参画の視点からの達成目標	受講生が、エンパワーメント講座を通じて、市政へ関心を持ち、様々な分野で意見を提言する場に参画する。					
指標	人材育成講座の受講者数（累計）			指標の出典	エンパワーメント講座の受講者数	
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<平成28年度>					460人
実績	327人	351人	366人	381人		
2年度	活動計画	子育て世代の参加を増やすため、若い方と協働して企画運営をする。				進捗状況
	活動実績	①ジェンダーバイアスと本当の自己実現／愛知淑徳大学講師 中島氏 ②心と体を整えるセルフメンテナンス／看護師・ヨガインストラクター TAMAKO氏 ③女性・子どもと法律／弁護士 下野谷氏 ④日常のイライラ解消法／(一社)日本アンガーマネジメント協会認定講師 稲垣氏 ⑤気持ちを伝える会話術／人材育成コンサルタント 松田氏 全5回実施。交流会1回開催。 （新型コロナウイルス感染拡大予防のため定員を15人とした。）				B
	課題等	若い方の参加が増えたが、講座後の市政に参画してもらえるように促す必要がある。				
次年度の活動計画	新型コロナウイルス感染症による影響を考慮しながら、若い方と協働して企画運営をし、エンパワーメントを高める講座内容にする。					

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		1 男女平等意識の促進				担当課	市民協働課 No.6
施策		(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供					
取組		市役所職員への男女共同参画研修の実施					
具体的な取組内容		男女共同参画への意識を高めるため、市職員の研修を実施する。					
男女共同参画の視点からの達成目標		市職員が自らワーク・ライフ・バランスを実践すると、男女共同参画の視点を踏まえた業務遂行をするようになる。					
指標		市職員の男女共同参画研修参加者数		指標の出典	DV・LGBT職員研修、新規採用職員研修受講者数		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<平成28年度>	<del>85人</del> →					85人
実績	43人	169人	152人	199人			
2年度	活動計画	DV及びLGBTの理解をすすめるため職員研修を実施する。さらに新規採用職員へも男女共同参画の理念が浸透するように研修を実施する。					進捗状況
	活動実績	①DV職員研修参加者（52人）「DVの基礎知識」/具 ゆり 氏（ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA） ②LGBT職員研修参加者（85人）「LGBTの基礎知識及びライフヒストリーなど」/特定非営利活動法人ASTA ③新規採用職員研修参加者（62人）					A
	課題等	さらに多くの教職員に参加してもらえるように、校長会などで促す必要がある。					
次年度の活動計画		引き続きDV及びLGBTの理解をすすめるため職員研修、新規採用職員に研修を実施する。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	保育課 No.7	
施策	(1) 学校等における教育機会の充実							
取組	保育者への男女共同参画研修の実施							
具体的な取組内容	園長、所長を対象に、男女共同参画に関する研修を実施し、男女平等への理解を深める。							
男女共同参画の視点からの達成目標	保育者が男女共同参画社会基本法の基本理念を理解することができる。							
指標	保育者研修会の参加人数			指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>32人</del>						32人	
実績	32人	27人	27人	32人				
2年度	活動計画	園長への研修を行う。					進捗状況	
	活動実績	園長を対象に、研修を行うことにより、男女平等への理解を深めることができた。					A	
	課題等	各園の保育士の意識が高まるように、今後も啓発していくことが必要である。						
次年度の活動計画	園長への研修を継続して行う。							

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	学校教育課 No.8
施策	(1) 学校等における教育機会の充実						
取組	学校等における男女共同参画に関する教育の実施						
具体的な取組内容	学校等において、男女平等意識を浸透させるための学習を推進する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	児童・生徒が、男女の違いを知るとともに、お互いを理解し合おうと努めていく気持ちを育てる。						
指標	「道徳」「学活」「総合」「保健」「人権教育」の授業で男女共同参画の学習を行った学級数			指標の出典	小中学校の担任の報告による		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>-----</del>					すべての学級
実績	—	421学級	451学級	すべての学級			
2年度	活動計画	①「道徳」や「学活」、「総合」等を通して、男女間の協力や助け合いの必要性について考える場を設け、学校行事や学年行事に活かす。 ②「保健」の授業を通して、男女間の違いや特徴について考える場を設け、男女間の特性を尊重して学校生活を送ることができるようにする。 ③「人権教育」の授業を通して、人それぞれの個性について考える場を設け、個性を尊重して学校生活を送ることができるようにする。					進捗状況
	活動実績	授業や学校行事等を通して、男女間の違いや特性、あるいは個性を尊重する心を育んだ。					A
	課題等	授業や学校行事等で育んだ男女間の違いや特性、個性を尊重する心をよりよい学校生活にいかす必要がある。					
次年度の活動計画	授業や学校行事等で育んだ男女間の違いや特性、個性を尊重する心を学校生活にいかしながら、学校生活を送ることができるようにする。						



## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	市民協働課 No.9	
施策	(1) 学校等における教育機会の充実							
取組	生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施							
具体的な取組内容	生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	生徒が男女共同参画を含めたDVについて認識するようになる。							
指標	リーフレットの配布枚数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>&lt;平成28年度&gt;</del>					2,000枚		
実績	1,951枚	3,808枚	5,148枚	3,725枚				
2年度	活動計画	リーフレットを作成し、継続して情報提供を実施する。					進捗状況	
	活動実績	①「みんなでつくる男女共同参画」のリーフレットに、デートDV、LGBT及びジェンダー指数の記事を掲載し、市内全中学3年生（1,829人）に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、3歳児保護者（1,896人）に配布した。					A	
	課題等	どのような内容を掲載するとよいのか。効果が分かりにくい。						
次年度の活動計画	デートDV防止やLGBTのリーフレットを作成し、引き続き市内全中学3年生に配布し啓発する。							

※年少児保護者への配布を幼稚園・保育園に依頼していたが、健康推進課から3歳児保護者に送付している予防接種通知書に同封する方法に切り替えた。（令和元年度～）

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	学校教育課 No.9
施策		(1) 学校等における教育機会の充実						
取組		生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施						
具体的な取組内容		生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		生徒が、交際をしている異性同士が平等であるという観点に立ち、交際相手の人権を尊重した考えをもてるようになる。						
指標		-		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						-	
実績	-	-	-	-				
2年度	活動計画	デートDVに関する情報収集する					進捗状況	
	活動実績	DVに関する情報を国や県の通知をもとに収集し、各学校へ周知した。					B	
	課題等	国や県の通知等から、生徒向けデートDVに関する情報を精査し、各校へ周知する必要がある。						
次年度の活動計画		国や県の通知等から、生徒向けデートDVに関する情報を精査し、各校へ周知する。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	学校教育課 No.10
施策	(1) 学校等における教育機会の充実						
取組	教育現場におけるLGBTへの対応						
具体的な取組内容	教育現場において性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発や研修機会の提供を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	教職員が、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めることができる。						
指標	LGBT等に関する啓発の実施率			指標の出典	各校からの報告		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<del>-----</del> →					85%以上実施	
実績	<H28年度> -	65%	70%	70%			
2年度	活動計画	教職員に対して、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を進んで行う。				進捗状況	
	活動実績	教職員が、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めることができるようパンフレット等を活用し、啓発した。各校の校長を通じて、市内教職員約1,000人のうち休職中や時短の職員を除く約700人に情報提供した。				B	
	課題等	パンフレット等による啓発に加え、様々な研修会への参加を働きかけながら、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を継続させる必要がある。					
次年度の活動計画	パンフレット等による啓発に加えて、研修会への積極的な参加を働きかけながら、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を継続させる。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	学校教育課 No.11	
施策	(2) 思いやり、認め合う意識の醸成							
取組	思春期保健の推進							
具体的な取組内容	学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	教職員が、男女の成長期における違いを正しく理解するとともに、違いを認めつつ互いに理解し合おうとする意識の向上を図る。							
指標	-		指標の出典		-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>						-	
実績	-	-	-					
2年度	活動計画	保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業を充実する。					進捗状況	
	活動実績	保健の授業において、男女の成長の違いに関する授業を実施した。					A	
	課題等	養護教諭を活用し、男女の成長期における違いを理解するとともに、違いを認めようとする意識の向上を図る必要がある。						
次年度の活動計画	男女の成長期における違いを理解するとともに、違いを認めようとする意識の向上を図る。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	健康推進課 No.11	
施策	(2) 思いやり、認め合う意識の醸成							
取組	思春期保健の推進							
具体的な取組内容	学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	子どもたちが、受け継がれた命、大切に育てられてきた自分を感じるにより、命の大切さを知ること、また人生設計が望まない変更とならないように、「性」についての正しい知識を知る。							
指標	講師派遣及び物品貸し出し件数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>50件</del>					50件		
実績	47件	41件	56件	29件				
2年度	活動計画	思春期保健に関する啓発の機会を増やせるよう、学校教育課や各中学校の養護教諭等と協力していく。					進捗状況	
	活動実績	小中学校を中心に講師派遣等を23回、物品貸し出しを6回行った。 また、思春期保健に関する啓発をするため、長期休暇前に小学5、6年生及び中学生を対象にチラシを配布した。					D	
	課題等	新型コロナウイルスの影響で講師派遣依頼等が減った。						
次年度の活動計画		思春期保健に関する啓発の機会を増やせるよう、学校教育課や各中学校の養護教諭等と協力していく。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	子育て支援課 No12
施策	(2) 思いやり、認め合う意識の醸成						
取組	赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の推進						
具体的な取組内容	命の大切さを学ぶことで、人権意識を認識し、思いやりの意識を醸成する機会として、小中学生を対象とした赤ちゃん講座を開催し、小中学生と乳幼児がふれあう機会を設ける。						
男女共同参画の視点からの達成目標	小中学生が、赤ちゃんとふれあい、関わることによって様々なことを感じたり考えたりしながら思いやりや命を大切にようになる。						
指標	児童センターの赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の参加人数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>840人</del>					840人
実績	840人	735人	1,438人	0人			
2年度	活動計画	児童センター9カ所（ふれあい体験、赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）で実施。					進捗状況
	活動実績	新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施。					D
	課題等	新型コロナウイルス感染症によりふれあいをすることができない。					
次年度の活動計画	児童センター9カ所（赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）で、新型コロナウイルス感染症の感染状況等をみながら、実施する。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.13
施策	(1) 女性のエンパワーメントへの支援						
取組	各種審議会等における女性委員の増加に向けた取組						
具体的な取組内容	各種審議会等における女性委員の割合を増やし、方針・政策決定の場への女性の参画を進める。						
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が審議会等に参加することで、方針・政策決定の場に女性の意見が述べられるようになる。						
指標	① 法律・条例により設置される審議会等の女性委員の割合			指標の出典	安城市における審議会等の状況調査		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>27.4%</del>					30.4%
実績	27.4%	29.9%	30.9%	31.6%			
指標	② すべての審議会等における女性委員の割合			指標の出典	安城市における審議会等の状況調査		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>28.2%</del>					33%
実績	28.2%	30.9%	31.7%	33.0%			
2年度	活動計画	年4回審議会等の女性委員調査を実施。次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。					進捗状況
	活動実績	年4回審議会等の女性委員調査を実施。 次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課（5課）へヒアリングを実施し、女性委員の登用促進をした。 ①法律・条例により設置される審議会等（女性委員の割合：女性委員212人/委員総数671人） ②すべての審議会等（女性委員の割合：女性委員397人/委員総数1,203人）					① A
	課題等	女性率が改善した審議会等でも、あて職や公募による市民が男性しかいないなどの理由により、悪化してしまうことがある。					② A
次年度の活動計画	引き続き年4回審議会等の女性委員調査を実施する。次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践				担当課	市民協働課 No.14	
施策		(1) 女性のエンパワーメントへの支援						
取組		女性の人材リスト等の整備						
具体的な取組内容		エンパワーメント講座修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登載し、審議会等への登用をPRする。						
男女共同参画の視点からの達成目標		人材育成講座修了生等が人材リストへ登録することで、様々な審議会等に参加することができるようになる。						
指標		市民参加パートナーバンクの登録者数（累計）		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>202人</del>					202人	
実績	172人	184人	185人	189人				
2年度	活動計画	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼をする。					進捗状況	
	活動実績	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジの修了生へ人材リストへの登載依頼をした。					B	
	課題等	講座修了生のうちパートナーバンクへ登録していただける人が少ない。						
次年度の活動計画		引き続きエンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼をする。						



### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.15
施策	(1) 女性のエンパワーメントへの支援						
取組	女性の人材育成のための研修・講座への派遣						
具体的な取組内容	女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	県などが開催する研修会等へ参加した市民が、女性リーダーに必要な知識・見識を得る。						
指標	研修会等派遣者数（累計）			指標の出典	県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等への市民派遣数		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>43人</del>					43人
実績	25人	29人	29人	30人			
2年度	活動計画	県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等へ市民派遣する					進捗状況
	活動実績	県男女共同参画人材育成講座へ1人（日本女性会議（刈谷）へ市民団体から参加。28人分の参加料を市で負担）					B
	課題等	新型コロナウイルス感染症の為、オンラインでも参加してもらえるよう啓発が必要。					
次年度の活動計画	県の主催するオンライン講座に参加してもらい、引き続き県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等へ市民派遣する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践				担当課	生涯学習課 No.15
施策		(1) 女性のエンパワーメントへの支援					
取組		女性の人材育成のための研修・講座への派遣					
具体的な取組内容		女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。					
男女共同参画の視点からの達成目標		女性が、エンパワーメントに対する意識、知識を高めることで、性別に関わりなくその個性と能力を発揮することができるようになる。					
指標		研修会等派遣者数（累計）		指標の出典		-	
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>	<del>4人</del> →					6人
実績	-	4人	16人	16人			
2年度	活動計画	次年度も女性がエンパワーメントに対する意識、知識を高めることができる研修会や講座へ市民を派遣する。					進捗状況
	活動実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催される研修会や講座が中止になり実施できなかった。					D
	課題等	女性向けの研修・講座は少なく女性にのみ声をかけることができず、定員などにより女性リーダーの出席が難しい場合もある。					
次年度の活動計画		開催されるものがあれば、引き続き研修・講座へ女性リーダーを派遣する。					

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.16	
施策	(1) 女性のエンパワーメントへの支援							
取組	誰もが学べる環境の整備							
具体的な取組内容	講座等の開催において託児の実施を行うなど、誰もが学びの場へ参加しやすい環境を整備する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	育児中の女性等が、安心して講座等に参加できる。							
指標	託児付講座数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度>	<del>5講座</del>					7講座	
実績	5講座	5講座	3講座					
2年度	活動計画	男女共同参画週間イベント、月間イベント、エンパワーメント講座等で託児を実施する					進捗状況	
	活動実績	①エンパワーメント講座 ②男女共同参画月間イベント ③男女共同参画サテライトセミナー ②、③はオンライン開催のため託児がなかったが、育児中でもオンラインなら参加しやすいと解釈し、3講座とした。					D	
	課題等	新型コロナウイルス感染症の影響で会場での開催ができないことから、託児の実施が難しい。						
次年度の活動計画	新型コロナウイルス感染症による影響を考慮して、託児の実施を検討する。 また、子育て中でも参加しやすいオンライン講座を検討する。							

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

34	3 男女共同参画社会の実践					担当課	生涯学習課 No.16
施策	(1) 女性のエンパワーメントへの支援						
取組	誰もが学べる環境の整備						
具体的な取組内容	講座等の開催において託児の実施を行うなど、女性が学びの場へ参加しやすい環境を整備する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が学びの場へ参加しやすい環境を整えることにより、ひとづくり、地域づくり等における知識・技能を向上することができる。						
指標	託児付講座数			指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	→				30講座	
実績	30講座	38講座	34講座	0講座			
2年度	活動計画	託児が必要な月齢の子どもを育てながらも自分らしく生きがいをもって生活できるような講座を今後も開講していく。				進捗状況	
	活動実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、託児を全般的に中止した。				D	
	課題等	コロナ禍の中でも託児を実施すること。					
次年度の活動計画	定員の半数で部屋を利用したり、接触者を明確にするなど、コロナ対策をとりながら託児を実施する。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

職場の	3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.17
施策	(2) 職場における女性活躍の推進						
取組	職場での女性活躍に向けた啓発・情報提供						
具体的な取組内容	女性管理職の拡大や女性の能力の活用について、県・関係機関が開催する講座などの情報収集に努め、商工会議所会報への掲載を依頼するなど、連携して企業・事業所などへの啓発を行い、女性の積極的な参加を促す。						
男女共同参画の視点からの達成目標	事業者が、女性の能力の活用に対する意識を高めることにより、女性が能力を発揮できる社会になる。						
指標	県・関係機関が開催する講座等の啓発回数			指標の出典		-	
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	→					-	
実績	<H28年度> 3回	6回	7回	5回			
2年度	活動計画	引き続き、愛知県と共催で労働講座を開催し、働きやすい職場環境構築への支援を行う。				進捗状況	
	活動実績	コロナ禍のため、県と共催する予定の労働講座は中止とした。一方でチラシや冊子による啓発・情報提供に努めた。				B	
	課題等	コロナ禍においても実現可能な労働講座の開催方法を愛知県と共に検討する。					
次年度の活動計画	コロナ禍における労働講座の開催方法を愛知県と共に探り、講座開催を通じて、女性活躍の推進を目指す。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践				担当課	商工課 No.18	
施策		(2) 職場における女性活躍の推進						
取組		女性の起業支援の実施						
具体的な取組内容		アンフォーレ内に設置する「安城ビジネスコンシェルジュ（通称「ABC」）」において、Anjo創業支援ファームやKEY PORT（キーポート）と連携し、起業セミナーを開催する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		多くの女性が起業することで、女性が生き活きと活躍できる社会が形成される。						
指標		起業セミナー参加者数		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>18人</del> →					30人	
実績	-	18人	11人	15人				
2年度	活動計画	引き続き、起業セミナーを実施し、起業者への支援を行う。					進捗状況	
	活動実績	5日間にわたり、起業セミナーを開催し、受講生は起業に必要な知識、ノウハウを習得し、ビジネスプランをまとめた。					B	
	課題等	コロナ禍で起業が注目されているが、今後もこの傾向が続くのか、一過性なのか様子を見る必要がある。						
次年度の活動計画		引き続き、起業セミナーを実施し、起業者への支援を行い、起業者が活躍できる社会を目指す。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.19
施策	(2) 職場における女性活躍の推進						
取組	女性の就労支援・再就職支援等の実施						
具体的な取組内容	出産・育児・介護などで退職した女性の再就職を支援するための情報の発信を行うとともに、セミナーを開催する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	退職した女性が、再就職に関する情報を得て、働けるようになる						
指標	再就職支援セミナー受講者数			指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<del>14人</del> → 20人					20人	
実績	14人	13人	24人	32人			
2年度	活動計画	参加者が興味を持ちやすいテーマを選定し、セミナーを実施することで再就職への動機づけを引き続き行う。				進捗状況	
	活動実績	「職場復帰・再就職に向けて「自分」を知ろう」「両立のための「コツ」を知ろう」をテーマに2日間にわたり、女性の再就職サポートセミナーをオンラインで開催した。				A	
	課題等	コロナ禍にあって、オンラインによる開催とし、参加者に受け入れられた。受講者の就職につながるよう、セミナー内容を検討していく。					
次年度の活動計画	参加者が関心を引くテーマを選定し、セミナーをきっかけとした再就職への動機づけを引き続き行う。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践				担当課	人事課 No.20
施策		(2) 職場における女性活躍の推進					
取組		安城市における「特定事業主行動計画」の推進					
具体的な取組内容		市役所における職員の子育て支援、女性職員の活躍に向けた環境整備のため、「特定事業主行動計画」の目標達成に努める					
男女共同参画の視点からの達成目標		女性職員が管理職員へ登用されることで、女性の個性と能力が十分に発揮され、活力のある組織になる。					
指標		① 管理的地位にある職員（課長補佐級以上）に占める女性職員の割合（再掲）			指標の出典	-	
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>						17%
実績	11.6%	11.3%	9.9%	8.3%			
指標		② 市男性職員の育児休業等の取得率			指標の出典	-	
目標	<H28年度>						85%
実績	81.3%	90.5%	77.3%	95.5%			
2年度	活動計画	女性管理職をよりイメージしやすいように、管理職の中でも最上位職である部長級への登用をより進め、ロールモデルを増やす。					進捗状況
	活動実績	①女性職員1名を部長級職員として登用した。 ②出産に係る手続きの際、制度を周知した。					① D
	課題等	①管理職の一つ前の職位である係長級の女性職員が少ない。 ②特別休暇ではなく、年次有給休暇を取得する職員がいる。					② A
次年度の活動計画		①管理職の一つ前の職位である係長級への女性職員の登用を積極的に進める。 ②引き続き積極的に職員へ制度を周知する。					





第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	農務課 No.21	
施策	(2) 職場における女性活躍の推進							
取組	女性農業者への支援の充実							
具体的な取組内容	農業分野における男女共同参画、女性活躍が促進されるよう、希望する女性に対し、就農や農業経営等の支援を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	農業に従事する女性が、農業という職業分野においても活躍できるようになる。							
指標	家族経営協定の締結農家戸数			指標の出典	—			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>66戸</del>					69戸		
実績	62戸	66戸	67戸	70戸				
2年度	活動計画	愛知県農業改良普及課と連携し、女性農業者のつどいなどの実施を通じて家族経営協定の締結等に関する啓発活動を行う。					進捗状況	
	活動実績	前年度に協定締結の運用を見直し（年1回開催から毎月開催に変更）、令和2年度中には、新たに3家族の家族経営協定の調印を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、女性農業者のつどいを開催できなかった。					A	
	課題等	女性農業者のつどいは、女性農業者の情報交換、仲間づくりの機会の場として開催しているため、気軽に参加できる場として引き続き開催したい。						
次年度の活動計画	引き続き愛知県農業改良普及課と連携し、女性農業者のつどいなどの実施を図る。							

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	契約検査課 No.22	
施策	(2) 職場における女性活躍の推進							
取組	子育て支援や女性の活躍推進を行う企業への優遇策の検討							
具体的な取組内容	子育て支援や女性の活躍、ワーク・ライフ・バランス推進等に積極的に取り組む企業を評価する入札、契約制度の拡充の検討をする。							
男女共同参画の視点からの達成目標	市が、評価競争入札の評価で既に取り入れている「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」以外に「あいち女性かがやきカンパニー」等の制度に登録認定された企業を入札、契約時の評価に加えることで、企業へ女性の活躍やワークライフバランスの啓発及び誘導できる。							
指標	入札における加点対象企業数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>&lt;H28年度&gt;</del>							
実績	26社	32社	33社	33社				
2年度	活動計画	令和2年度の実施の結果を検証する。					進捗状況	
	活動実績	総合評価競争入札を55件実施し、参加業者数は34社であった。その内、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」及び「女性の活躍促進宣言」の何れかまたは両方で加点対象となった企業数は20社（59%）であった。					B	
	課題等	登録企業数の増加を図るため、総合評価競争入札の評価項目の追加や評価方法の見直しを検討する。						
次年度の活動計画	令和3年度の実施の結果を検証し、評価対象制度の拡充を検討する。							

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.23	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	各種制度（育児休業・介護休業等）の周知							
具体的な取組内容	仕事と育児・介護の両立を支援するため、育児・介護休業制度、パートタイム労働法、ファミリー・フレンドリー企業、再就職支援などの情報収集に努め、広報やチラシなどでPRし、制度などの取得・利用を促す。							
男女共同参画の視点からの達成目標	各種制度を周知することにより、労働環境の向上に結びつけ、男女共に仕事と家庭生活の両立を図る。							
指標	各種制度についての広報及び啓発回数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>-----&gt;</del>						-	
実績	12回	8回	7回	14回				
2年度	活動計画	引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。					進捗状況	
	活動実績	チラシの配布を行い制度理解を促進した。					A	
	課題等	中小企業の各種制度構築に当たり、支障となる課題等の把握。						
次年度の活動計画	引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践					担当課	健康推進課 No.24
施策		(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組		男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供						
具体的な取組内容		男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、男性を対象とした講習会や学習機会の提供を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		夫婦が、妊娠期から出産後の妊産婦の心の変化や、育児について共に学び、お互いの役割を一緒に考えることができる。						
指標		夫婦でのパパママ教室参加率		指標の出典	夫婦でパパママ教室に参加した妊婦数 / パパママ教室に参加した妊婦総数			
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>94%</del>					90%以上	
実績	92%	94%	94.3%	93.2%				
2年度	活動計画	男性の家事・育児への参画に向けた学習機会の提供方法の再検討し、実施していく。					進捗状況	
	活動実績	パパママ教室へんきょう編 164名の夫の参加あり（妊婦176人中）。新型コロナウイルス感染症対策のため、実施方法・内容を見直し、令和2年度からたいけん編を中止した。					A	
	課題等	参加者数が感染症の流行状況に影響を受けるため、継続して安心安全に受講できる環境づくりと、それをPRしていくこと。						
次年度の活動計画		感染症対策を継続しながら、男性の家事・育児への参加に向けた学習機会を提供していく。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	子育て支援課 No24
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供						
具体的な取組内容	男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、男性を対象とした講習会や学習機会の提供を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	男性が、積極的に子育てや家事を楽しむようになる。						
指標	「パパ講座」、「育メン広場」参加人数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>550人</del>					550人
実績	531人	318人	265人	63人			
2年度	活動計画	パパ講座 3回/年（パパとパワフルに運動遊び、パパと元気体操、パパと一緒にわくわく体操） 育メン広場 1回/月（手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等）					進捗状況
	活動実績	パパ講座 2回/年（パパと元気体操、パパと一緒にわくわく体操） 育メン広場 1回/月[8~2月]（手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等）					D
	課題等	新型コロナウイルス感染症対策のため一部中止とし、パパ講座は2回、育メン広場は8月からの開催となった。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開催について検討していく必要がある。					
次年度の活動計画	パパ講座 3回/年（ベビーマッサージ、リトミックを楽しもう、音楽に合わせて親子で遊ぼう） 育メン広場 1回/月（手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等）						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践				担当課	生涯学習課 No.24	
施策		(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組		男性の家事、育児等への参画に向けた学習機会の提供を行う。						
具体的な取組内容		男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		男性または女性が共に家庭生活を担うための講習を受けることで、男性の家事、育児等の参画への理解が促進する。						
指標		男性の参画を促進するための講座実施数		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>18講座</del> →					18講座	
実績	18講座	25講座	29講座	12講座				
2年度	活動計画	男女が家庭的責任をともに担うため、男性の家事、育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。					進捗状況	
	活動実績	4月～9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座開催を中止し、10月以後再開した。土日開催の講座は例年通りの割合で開催することができた。					C	
	課題等	男性の参加は増えているが、継続して学べる機会の提供が必要。						
次年度の活動計画		男性の家事・育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.25	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進							
具体的な取組内容	仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	子育て世代の男性が、家事・育児等の両立に配慮した働き方を認識することで、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活をするようになる。							
指標	ワーク・ライフ・バランスについての啓発回数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度>						-	
実績	2回	2回	2回					
2年度	活動計画	研修や啓発物等でワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施する。					進捗状況	
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌で企業インタビューを掲載し、ワーク・ライフ・バランスを啓発</li> <li>・新規採用職員研修会用の資料にてワーク・ライフ・バランスを啓発</li> </ul>					B	
	課題等	新型コロナウイルス感染症などの情勢を踏まえた、パンフレットの作成が必要。						
次年度の活動計画	研修や啓発物等で新型コロナウイルス感染症を踏まえた、ワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施する。							

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践				担当課	商工課 No.25
施策		(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備					
取組		子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進					
具体的な取組内容		仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。					
男女共同参画の視点からの達成目標		子育て世代の男性が、働き方を見直し、男女共に仕事と家庭生活の両立を図るようになる。					
指標		働き方に関する広報・啓発の実施回数		指標の出典	広報、商工会議所会報、各種窓口でのチラシの設置		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>	→					
実績	6回	8回	5回	7回			
2年度	活動計画	引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。					進捗状況
	活動実績	チラシの配布を行い制度理解を促進した。					B
	課題等	中小企業が各種制度構築に当たり、課題の有無を把握する必要がある。					
次年度の活動計画		引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。					



## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.26
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組	働き方の見直しのための啓発						
具体的な取組内容	企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。						
男女共同参画の視点からの達成目標	事業者が制度を整備することで、働く人のワーク・ライフ・バランスがとれるようになる。						
指標	有給休暇・ノー残業デー制度等の啓発回数			指標の出典		-	
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度> <del>1回</del> → -						
実績	1回	1回	1回				
2年度	活動計画	商工会議所に、有給休暇促進、ノー残業デー等の制度の啓発をするパンフレットを配布する。					進捗状況
	活動実績	企業インタビューを掲載した、男女共同参画情報誌を商工会議所に配布。					B
	課題等	現状にあったワーク・ライフ・バランス啓発する、新しいパンフレットの作成が必要。					
次年度の活動計画	商工会議所に、新型コロナウイルス感染症を考慮した、ワーク・ライフ・バランスを啓発をするパンフレットを配布する。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践				担当課	商工課 No.26
施策		(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備					
取組		働き方の見直しのための啓発					
具体的な取組内容		企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。					
男女共同参画の視点からの達成目標		労働者が、働き方を見直すことにより、男女共に仕事と家庭生活の両立を図れるようになる。					
指標		県下一斉ノー残業デーの啓発回数			指標の出典		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>	—————→					1回
実績	1回	1回	2回	3回			
2年度	活動計画	有給休暇取得を促す、ポスターチラシによる啓発を行う。					進捗状況
	活動実績	愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図った。					A
	課題等	継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。					
次年度の活動計画		有給休暇取得を促す、ポスターチラシによる啓発を行う。					

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.27	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	女性活躍推進のための講座などの開催							
具体的な取組内容	女性活躍推進のために職場環境を考える講座などを開催する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	企業の人事担当者や労働者が、職場での適切な人員配置と必要な業務改善について考えることで、働きやすい職場環境の整備がすすむ。							
指標	女性活躍推進のための講座の受講者数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度>	<del>20人</del>					20人	
実績	-	10人	15人	15人				
2年度	活動計画	「新しい私」発見講座を見直し、若い女性が積極的に参加できる講座を開催する。					進捗状況	
	活動実績	子育て世代の若い女性が参加した、エンパワーメント講座の中で話し合いを実施。新型コロナウイルス感染症のため、定員を20人から15人にした。					B	
	課題等	若い世代のエンパワーメントを高める講座を検討する。						
次年度の活動計画	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、講座を開催する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	子育て支援課 No.28	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	子育て家庭への支援の充実							
具体的な取組内容	地域子育て支援拠点事業を充実し、子育てへの不安解消の手助けをする。							
男女共同参画の視点からの達成目標	子育て中の市民が、子育ての不安が解消することによって、子育てに前向きになる。							
指標	子育て支援センター、つどいの広場利用人数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>	<del>108,986人</del>					85,000人	
実績	80,664人	108,986人	88,631人	28,486人				
2年度	活動計画	子育て支援センター5か所 つどいの広場4か所					進捗状況	
	活動実績	子育て支援センター5か所（子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など） つどいの広場4か所（親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供）					D	
	課題等	新型コロナウイルス感染症対策のため、5月24日（日）まで閉所した。また、開所後も密を避けるため人数制限を行ったため、人数が減少した。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開所方法について検討していく必要がある。						
次年度の活動計画	子育て支援センター5か所 つどいの広場4か所							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	生涯学習課 No.29	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	女性のライフプランニング支援							
具体的な取組内容	積極的な社会参画を目指す女性をはじめ、女性が充実した生活を送るための講座を開講する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が充実した生活を送るための講座を受講することで、積極的な社会参加が望めるようになる。							
指標	女性が充実した生活を送るための講座実施数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>-----&gt;</del>						1回	
実績	8回	9回	4回					
2年度	活動計画	女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。					進捗状況	
	活動実績	4月～9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座開催を中止し、10月以後再開した。土日開催の講座は例年通りの割合で開催することができた。					A	
	課題等	女性の社会参画が多様化してきているため、ニーズに応じた講座企画を進める必要がある。						
次年度の活動計画	女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。							

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	市民協働課 No.30
施策		(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組		地域団体や組織等に対する男女共同参画に関する情報・学習機会の提供						
具体的な取組内容		町内会・老人クラブ・PTA・子ども会などをはじめ各地域における地域団体や組織、また、町内公民館長を対象とする研修会などで積極的に男女共同参画を働きかける。						
男女共同参画の視点からの達成目標		各種団体が、男女の隔たりなく活躍できるようになる。						
指標		① 町内会長に就く女性の割合			指標の出典		-	
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>-----&gt;</del>					10%	
実績	0%	2.5%	4.9%	1.2%				
元年度		② 町内会等への啓発			指標の出典		-	
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>-----&gt;</del>					2回	
実績	0回	3回	3回	2回				
2年度	活動計画	各種団体を所管する担当課と連携し、男女共同参画についての啓発を行う					進捗状況	
	活動実績	①町内会長に就く女性の割合（女性数1人/町内会長総数81人） ②男女共同参画月間イベント及び男女共同参画サテライトセミナーを啓発。					① C	
	課題等	町内会の役員に女性の登用が進んでいない。					② A	
次年度の活動計画		引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、男女共同参画についての啓発を行う。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	危機管理課 No.31
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組	防災活動における男女共同参画の推進						
具体的な取組内容	防災会議などへの女性委員の登用や、女性の視点から考えられる避難所の備蓄品整備を推進する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	女性の意見が防災計画や備蓄計画に反映される。						
指標	① 女性の視点に配慮した備蓄品の配備			指標の出典	女性の視点に配慮した備蓄品（トイレ用ランタン、除菌消臭剤、ウェットティッシュ）の配備		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>-----</del> →					配備完了
実績	配備なし	備蓄品の購入	備蓄品の配備	備蓄品の配備			
指標	② 防災会議の女性の登用率			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>-----</del> →					30%
実績	8%	14.3%	14.3%	14.3%			
2年度	活動計画	備蓄計画に基づき各避難所に配備を進める。 防災会議などへの女性委員の登用を図るとともに、女性委員の意見を反映できる環境を整備していく。					進捗状況
	活動実績	①購入した備蓄品の配備を進めた（ランタン、消臭剤、ウェットティッシュ等）。 ②防災会議において、令和元年度と同様に4名の女性委員の登用を図り、女性の意見を反映した。					① B
	課題等	①防災備蓄品は、使用期限を考慮して随時更新する必要がある。 ②防災会議は、各団体から委員を選出しており、団体の役職者が男性の場合は女性の登用率が上がらない。					② B
次年度の活動計画	①期限切れにならないよう、防災備蓄品は計画的に更新を実施する。 ②防災会議は、引き続き女性委員の登用を図り、登用率の改善を検討していく。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	市民安全課 No.32	
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進							
取組	女性を狙う犯罪から身を守るための講座の開催							
具体的な取組内容	女性を狙う犯罪から身を守るため、防犯教室などの講座を開催し、防犯に対する意識の向上を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	防犯教室等の参加者が、実践を多く行うことにより、女性の防犯意識が高まるとともに、対応策を身に付けることで不審者に対する心構えができるようになる。							
指標	女性対象防犯教室の参加者数(累計)			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>	<del>1,142人(累計)</del> →					1,940人 (1,673人)	
実績	1,142人 (累計)	1,400人	1,502人	1,502人				
2年度	活動計画	継続して開催する。					進捗状況	
	活動実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。さすまたの使い方について、職員に向けて情報提供を行った。					D	
	課題等	コロナ禍の中で、参加者数を減らして実施するなどの開催方法を検討する必要がある。						
次年度の活動計画	新型コロナウイルス感染拡大の防止に最大限配慮し、開催可能な方法を検討して開催するよう努める。							
目標値変更の根拠	当初、令和5年度の目標値を各年度114人伸びると想定し設定したが、令和3年度以降はコロナ禍の中でスペースを取りながら実施することとし、各年度114人の半数である57人が参加するという目標値に修正する。 $1,502人 + (114人 \div 2 \times 3年間) = 1,673人$							



## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	市民協働課 No.33
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組	男女共同参画に取り組む市民活動団体の育成						
具体的な取組内容	様々な団体と連携し、男女共同参画の趣旨を理解し男女共同参画の視点で活動する団体をふやす。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民活動団体が、それぞれの分野の取組の中で男女共同参画を促進するようになる。						
指標	男女共同参画の活動も行う団体数			指標の出典	市民活動センターの登録団体のうち男女共同参画にチェックのある団体数		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>						32団体
実績	31団体	33団体	34団体	32団体			
2年度	活動計画	町内会や市民活動団体等へ男女共同参画の趣旨を啓発し、男女共同参画をすすめる事業に市の補助金等を支給する					進捗状況
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会へ男女共同参画の情報提供を実施した。</li> <li>・市民活動団体へ、男女共同参画に関するイベントの案内や情報誌を配布した。</li> <li>・男女共同参画の推進に取り組む団体に市民活動補助金を交付した。</li> </ul>					A
	課題等	連続して男女共同参画の市民活動補助金を受託する市民団体がいない。					
次年度の活動計画	町内会や市民活動団体等へ男女共同参画の趣旨を啓発し、男女共同参画をすすめる事業に市の補助金等を支給する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	健康推進課 No.34
施策	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進						
取組	妊娠や出産に関する健康支援の実施						
具体的な取組内容	子どもを望む夫婦を支援するため不妊治療費の助成を行う。また、妊産婦健康診査の実施にあたり、受診しやすいように妊産婦健康診査費の助成を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	助成を受けた夫婦が、経済的負担の軽減により、安心して妊娠に向けて取り組んだり、出産を迎えるようになる。						
指標	妊娠11週までの妊娠届出率			指標の出典	妊娠11週までの届出数/全届出数		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>95.8%</del>					95%以上
実績	95.8%	96.4%	95.4%	96.0%			
2年度	活動計画	不妊治療費の助成を行う。予定申請数320件 助成金額11,200,000円 ・対象治療及び費用の調査、分析をし、県や他市の助成状況を見ながら、対象治療、費用限度額を検討していく。 妊産婦健康診査費の助成を行う。 ・産婦歯科健康診査ケア事業を開始する。 ・母子保健情報の利活用の稼働					進捗状況
	活動実績	不妊治療費の助成：申請数331件 助成金額10,944,000円 ・国や県の動向に合わせ、対象者や助成期間について見直し次年度に向け要綱改正をした。 妊産婦健康診査費の助成を実施。 ・次年度に向け、受診票単価について妊婦乳児健康診査に関する協議会において協議決定された金額に変更準備。					A
	課題等	不妊治療について ・対象者や助成期間等を見直したことで周知を広く回り、対象となる人がもれなく助成が受けられるようにすること。 妊産婦健康診査の助成について ・妊娠中の早期からの健康管理のため、妊娠11週までの妊娠届け出につながるよう周知する。					
次年度の活動計画	不妊治療において、国の動向に合わせ、対象治療、費用限度額を検討していく。 妊産婦健康診査費の助成については、継続して実施し安心安全な妊娠出産ができるよう支援する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	健康推進課 No.35
施策	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進						
取組	男女特有の疾病に対する予防支援						
具体的な取組内容	各種がん検診の実施や保健指導・健康教育などを通じ、性差に応じた健康課題に対する予防支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が、男女特有の疾病（子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）の検診受診の重要性を認知することで検診を受診するようになる。						
指標	乳がん検診受診率			指標の出典	乳がんの受診率（国保加入者）		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<del>2018年度</del> → 28%						
実績	17%	26.6%	25.6%				
2年度	活動計画	様々な機会を捉え、検診受診の重要性を周知する。					進捗状況
	活動実績	子宮頸がん検診について、離乳食講習会の場での周知や4か月児健診案内送付時の封筒に啓発チラシを同封し周知することで受診勧奨を実施。特定の年代に対し、がん検診の受診勧奨のはがきを個人通知することで受診勧奨に努めた。					B
	課題等	がん検診の希望者は、あいち電子申請・届出システムや電話により検診票を取り寄せる必要がある。受診につながっていない人の中には自身が受診できるがん検診の存在を把握できていない可能性もある。					
次年度の活動計画	国保加入者のうちのがん検診の対象者に対し、受診しやすくなるよう体制を見直す。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				担当課	保育課 No.36
施策		(3) 参画を助ける環境の整備					
取組		通常教育・保育事業の推進					
具体的な取組内容		「安城市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育所等における受入体制を整備する。					
男女共同参画の視点からの達成目標		保育を希望する市民の子どもが、より多く保育園等に入所できるようになる。					
指標		保育園等への入園申込をした児童のうち、どこにも入園できなかった児童の人数（再掲）			指標の出典		—
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>	<del>0人</del> →					0人
実績	0人	19人	5人	1人			
2年度	活動計画	適切な利用調整を実施するとともに、令和4年度開園予定の新園（私立）設立の準備を行っていく。					進捗状況
	活動実績	保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行った。 また、令和4年度開園予定の新園の民間事業者を決定した。					B
	課題等	待機児童が発生した。					
次年度の活動計画		引き続き適切な利用調整を実施するとともに、令和4年度開園予定の新園（私立）設立の準備を行っていく。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				担当課	保育課 No.37	
施策		(3) 参画を助ける環境の整備						
取組		一時預かり事業、時間外保育事業、病児・病後児保育事業等の充実						
具体的な取組内容		働く男女を支援するため、休日保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育などの各種保育・子育て支援サービス事業を推進する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		市民が、多様な保育サービスを受けることで、就労等で保育を必要とする父母が安心して子どもを預けられる。						
指標		一時、休日、延長、病児・病後児保育実施園数		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>一時：9園 休日：2園 延長：31園 病児・病後児：1園</del>					一時：10園 休日：2園 延長：32園 病児・病後児：1園	
実績	一時：9園 休日：2園 延長：31園 病児・病後児：1園	一時：10園 休日：2園 延長：32園 病児・病後児：1園	一時：11園 休日：2園 延長：36園 病児・病後児：1園	一時：11園 休日：2園 延長：36園 病児・病後児：1園				
2年度	活動計画	令和4年度開園予定の新園（私立）が決定次第、一時保育、延長保育の実施について調整を行う。					進捗状況	
	活動実績	令和4年度開園予定の新園について、延長保育を実施できる民間事業者が決定した。ただし、一時保育の実施については未定。					A	
	課題等	保護者のニーズを把握し、適切な保育の実施ができるよう要望に応える必要がある。						
次年度の活動計画		引き続き、各種保育・子育て支援サービス事業の適切な実施調整を行う。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	子育て支援課 No.38
施策	(3) 参画を助ける環境の整備						
取組	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の推進						
具体的な取組内容	居間保護者が就労等で家庭にいない小学生を対象に放課後児童健全育成事業を実施し、児童の健全育成を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	それぞれの家庭の状況を踏まえて、働く保護者が安心して子どもを預けられるように子育てできるようになる。						
指標	① 児童クラブへの入会申込をした児童のうち、どの児童クラブにも入会できなかった児童の数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<del>0人</del>					0人	
実績	0人	2人	2人				
指標	② 児童クラブ入会登録児童数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<del>1,852人</del>					2,000人	
実績	1,852人	2,077人	2,146人	2,148人			
2年度	活動計画	公営 52施設 定員2195人 民間 4施設 定員 146人。					進捗状況
	活動実績	【令和2年4月1日現在】 公営 52施設 受入2027人 民間 4施設 受入 121人。					① C
	課題等	1～4年生は全校で受け入れ、5・6年生は9校で受け入れをしたが、学校によっては4年生以下の利用児童が増加しており、定員、放課後児童支援員ともに不足している。					② A
次年度の活動計画	【令和3年4月1日現在】 公営 56施設 定員2410人 民間 3施設 定員 116人。						

基本目標		4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				担当課	人事課 No.39
施策		(3) 参画を助ける環境の整備					
取組		市職員における介護離職ゼロに向けた取組の推進					
具体的な取組内容		高齢化の進行に伴う介護離職等を防止するため、介護休業制度の定着を促進する。					
男女共同参画の視点からの達成目標		全ての職員が、介護休業制度を十分認識し、夫婦・家族で介護を担えるようになる。					
指標		介護休暇制度の周知回数		指標の出典		-	
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>	<del>1回</del> →					3回
実績	1回	1回	1回	2回			
2年度	活動計画	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、引き続き積極的に職員へ制度を周知する。					進捗状況
	活動実績	①介護休暇制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトへ掲載し周知した。 ②新規採用職員への勤務概要説明時に介護休暇制度について説明し周知した。					B
	課題等	実際に周知できているか不明。					
次年度の活動計画		①②により、引き続き積極的に職員へ制度を周知する。					

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶				担当課	市民協働課 No.40	
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		LGBT等、多様な性に関する理解促進						
具体的な取組内容		性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		市民が性的少数者（LGBT等）に対する対応方法を理解し、多様性を認め合うようになる。						
指標		市民向け啓発回数		指標の出典				
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	職員向けに実施		市民向けに実施		2回		
実績	-	7回	7回	6回				
2年度	活動計画	性的少数者(LGBT等)の啓発を実施する					進捗状況	
	活動実績	市民向け ・エンパワーメント講座の受講生に啓発 ・男女共同参画月間イベントにてLGBTの講演を実施 ・3歳児の保護者にLGBTのリーフレットを配布 ・中学3年生にLGBTに関する内容を含むリーフレットを配布 職員向け ・職員向けにLGBT研修を実施（85人参加） ・新規採用職員に資料を配布					A	
	課題等	教職員のLGBT研修の参加を促進すること。						
次年度の活動計画		イベント等で性的少数者(LGBT等)を理解促進する啓発を実施する。						



## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.41	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発							
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	ハラスメントをする人が人権侵害をしないようになる。							
指標	-		指標の出典		-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度> <del>-----</del> -							
実績	-	市公式ウェブサイトに掲載	啓発・研修を実施	啓発・研修を実施				
2年度	活動計画	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について掲載して啓発する					進捗状況	
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学3年生にデートDVについてや性の多様性などの理解を深めるリーフレットを配布した。</li> <li>・ 女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布した。</li> <li>・ DV職員研修を実施した。(52人参加)</li> </ul>					A	
	課題等	ハラスメント等を受けている人が相談できているか把握できない。						
次年度の活動計画	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について啓発する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 No.41
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容		様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		小・中学生を含めた市民が、人権問題の知識を得ることで、誰もが住みよい社会となる。						
指標		-		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						-	
実績	-	-	-	-				
2年度	活動計画	人権教室（小学校）、七夕会場以外での街頭啓発活動					進捗状況	
	活動実績	安祥文化のさとまつりにて冊子等の啓発用品配布型啓発活動を実施した。					B	
	課題等	三密を回避し、非接触による啓発用品配布が可能な場所は限定される。						
次年度の活動計画		新型コロナウイルス感染防止に配慮した活動を実施する。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	商工課 No.41
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容		様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		事業主が、人権侵害の防止の取り組みをするようになる。						
指標		ハラスメントに関する啓発回数			指標の出典		-	
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>-----&gt;</del>					-	
実績	-	0回	2回	4回				
2年度	活動計画	国・県等よりのチラシ等による啓発を行う					進捗状況	
	活動実績	チラシの配布を行い制度理解を促進した。					B	
	課題等	継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。						
次年度の活動計画		国・県等よりのチラシ等による啓発を行う。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	学校教育課 No.41	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発							
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	教職員が、様々なハラスメントや人権侵害問題を意識するようになる。							
指標	教職員向け研修会への参加者割合			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>	<del>50%</del>					50%	
実績	-	25%	29%	0%				
2年度	活動計画	教職員に対して、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を引き続き行う。					進捗状況	
	活動実績	例年、県主催の研修会や、各学校主催の講演会に参加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、すべて研修会等が中止になり参加することができなかった。					D	
	課題等	学校性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるために、様々な研修会への参加を働きかけながら、より多くの教職員が参加できるよう啓発を継続する必要がある。特に学校で働く教員以外の職員の参加が少ないので、さらなる啓発が必要である。						
次年度の活動計画	性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるために、様々な研修会への参加を働きかけながら、より多くの教職員が参加できるよう啓発を継続する。							

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.42	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	様々な相談事業の実施							
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。							
指標	DVに関する相談件数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度>	<del>-----&gt;</del>					-	
実績	1件	0件	1件	0件				
2年度	活動計画	相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携を図れるようにする。					進捗状況	
	活動実績	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を書面開催した。					B	
	課題等	男性の被害者についての対応が不明確。						
次年度の活動計画	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携を図れるようにする。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 No.42
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容		女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標		女性が安心して、相談できるようになる。						
指標		女性相談の相談件数			指標の出典		-	
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						-	
実績	71件	80件	79件	69件				
2年度	活動計画	女性相談の実施					進捗状況	
	活動実績	緊急事態宣言発令に伴い7回中止したため、年間4回実施した。					B	
	課題等	中止7回により開催回数は減少したが、1回当たり相談件数は変わらない。 令和元年度 1.55件/回 令和2年度 1.56件/回						
次年度の活動計画		女性相談を実施する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.42	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	様々な相談事業の実施							
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。							
指標	① 母子相談の相談件数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>						-	
実績	636件	1,137件	907件	870件				
指標	② 子育て相談の相談件数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<H28年度>						-	
実績	123件	152件	145件	107件				
指標	③ DVや児童虐待に関する相談			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<H28年度>						-	
実績	174件	117件	69件	41件				
2年度	活動計画	相談、助言、指導できる体制を維持する					進捗状況	
	活動実績	件数については減少となったが、相談、助言、指導できる体制はとれた。					①	A
	課題等	外国人のDVや児童虐待を始めとする各種相談に対する対応の充実を図る必要がある。					②	A
次年度の活動計画	外国人向けのDVや児童虐待に関する案内チラシを作成し、対応の充実を図る。					③	A	

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶				担当課	社会福祉協議会 No. 42	
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容		心配ごと相談の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標		様々な事情を抱える利用者が分け隔てなく利用しやすくなる。						
指標		心配ごと相談件数		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	→ -						
実績	64件	45件	46件	65件				
2年度	活動計画	心配ごとを相談できる身近な窓口として、利用者が分け隔てなく利用しやすい相談所の運営を継続する。					進捗状況	
	活動実績	相談しやすい体制をとるため、心配ごと相談は週5日(火曜日から土曜日、予約不要)を開催している。相談ができる場として相談者の悩みを聴き、問題を整理する支援の場となっており、必要に応じて各種専門相談窓口を紹介したり、専門職と連携して解決を図る役割を果たしている。					A	
	課題等	心配ごと相談の窓口だけでは、解決の難しい相談もあり、専門の相談窓口や専門職との連携が引き続き必要である。他機関への情報提供については、本人同意がとれない場合もあり、繋げない場合もある。包括支援センターなど専門の相談窓口が充実し、直接専門の相談窓口で相談できたり、地域の福祉活動の中で悩み事がキャッチされ、専門機関につながるなど、心配ごと相談を経由しなくても相談できるケースも増加している。一方で、「どこに相談に行けばいいのか分からない悩みを聴いてほしい」などの相談に対応できる窓口も必要とされている。						
次年度の活動計画		心配ごとを相談できる身近な窓口として、利用者が分け隔てなく利用しやすい相談所の運営を継続する。						



## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.43	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施							
具体的な取組内容	DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談できるようになる。 DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。							
指標	DVの啓発回数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度>	<del>9回</del>					5回	
実績	5回	9回	7回	5回				
2年度	活動計画	DV防止のチラシ等を作成・配布する。					進捗状況	
	活動実績	①エンパワーメント発見講座 男女共同参画の講義でDVについて講話し、DVミニパンフ配布 ②DV職員研修実施 ③公共施設のトイレ等にDVミニパンフ及び男性相談窓口カード（県より配布）を設置 ④中学3年生にデートDVなどの内容のリーフレットを配布 ⑤市公式ウェブサイトで啓発					A	
	課題等	相談先などミニパンフの内容を見直す必要あり。						
次年度の活動計画	DV防止のチラシ等を作成・配布する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.43	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施							
具体的な取組内容	DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談できるようになる。DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。							
指標	DVの啓発人数			指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>市内21小学校</del>					市内21小学校 (全新1年生保護者)		
実績	21小学校	21小学校	21小学校					
2年度	活動計画	小学校入学説明会などを利用し、啓発を行う。					進捗状況	
	活動実績	冊子を市内21小学校の全新1年生保護者に配布した。					B	
	課題等	新型コロナウイルス感染症のため、小学校入学説明会での啓発が行えなかった。						
次年度の活動計画	小学校入学説明会などを利用し、啓発を行う。							

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.44
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	DVに関する相談対応の実施						
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	被害に合った時にすぐに相談できる体制をつくることで、市民が早期に相談ができるようになる。						
指標	DV被害を受けた後、どこにも相談しなかった人の割合			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>52.5%</del>					50.6%
実績	52.5%	-	-	-	-	-	
2年度	活動計画	DV庁内会議で被害者対応の情報共有をする。					進捗状況
	活動実績	DV庁内会議を開き、市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有した。					A
	課題等	市民アンケートにて指標の数値を求めるが、令和2年度は市民アンケートを実施していないため、把握できていない。					
次年度の活動計画	引続きDV庁内会議で被害者対応の情報共有をする。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 No.44
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	DVに関する相談対応の実施						
具体的な取組内容	DV被害者への早期対応を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、相談しやすくなる。 DV被害者が、住民票等の支援措置を受けることで、生活の建て直しがしやすくなる						
指標	DVに関する相談件数			指標の出典		-	
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>					-	
実績	8件	3件	0件	2件			
2年度	活動計画	相談窓口の周知を広報、ウェブサイト、紙資料配布により実施する。				進捗状況	
	活動実績	広報での相談窓口の周知12回、ウェブサイトでの周知、相談窓口一覧表（紙）を配布した。				B	
	課題等	市民協働課をはじめとする関係各課との連携を深めていく。					
次年度の活動計画	相談窓口の周知を広報、ウェブサイト、紙資料配布により実施する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.44	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	DVに関する相談対応の実施							
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が安心して相談できるようになる。							
指標	DVに関する相談件数			指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<del>22件</del> → —							
実績	22件	21件	10件	6件				
2年度	活動計画	庁内会議を通じて連携を図る。					進捗状況	
	活動実績	新型コロナウイルスの影響により書面開催となったが、各課におけるコロナ禍のDV相談状況や対応状況の共有を図ることができた。					B	
	課題等	今後も各課の担当者が適切に相談・支援ができるよう、個別ケースの共有が必要である。						
次年度の活動計画	庁内会議を通じて各課の相談・支援状況の共有や連携を図る。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶				担当課	子育て支援課 No.45	
施策		(2) DVの啓発と早期対応						
取組		被害者支援にあたっての関係機関との連携強化と適切な一時保護の実施						
具体的な取組内容		女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と横断的に連携をとり、被害者を適切に一時保護する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と連携して、職員が、被害者を適切に一時保護をし、身体の安全を確保できるようになる。						
指標		一時保護件数		指標の出典		-		
基準年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	→ -						
実績	1件	1件	2件	2件				
2年度	活動計画	関係機関との連携を図り、身の安全を図る。					進捗状況	
	活動実績	被害者の状況を確認しながら身体の安全を確保することができた。					A	
	課題等	職員が適切に一時保護、母子生活支援施設への入所など支援できるスキル維持が必要である。						
次年度の活動計画		関係機関と連携を図り、身の安全を図る。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.46	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	被害者の自立支援							
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が自立した生活が送れるようになる。							
指標	-		指標の出典			-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度> <del>-----&gt; -</del>							
実績	-	-	-					
2年度	活動計画	行政はDV被害者の希望を聞き取り、庁内関係部署と連携して必要な支援をする					進捗状況	
	活動実績	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を書面開催した。					A	
	課題等	新型コロナウイルス感染拡大を要因とした相談件数増加に対応した連携が必要。						
次年度の活動計画	引き続き行政はDV被害者の希望を聞き取り、庁内関係部署と連携して必要な支援をする。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 No.46
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	被害者の自立支援						
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、市民相談、女性相談、法律相談などを活用し、生活の建て直しの方法を見出す。						
指標	-		指標の出典	-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>					-	
実績	-	-	-				
2年度	活動計画	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施する。				進捗状況	
	活動実績	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施した。					
	課題等	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令後も、顕著なDV相談の増加は見られない。					
次年度の活動計画	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施する。						

B



第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.46
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	被害者の自立支援						
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市が、支援措置や一時保護をした母子に対して今後の生活設計を十分に聞き取り、自立した生活が送れるように庁内が連携して支援することができる。						
指標	関係部署とのコア会議回数			指標の出典		-	
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>-----</del> → -					
実績	-	0回	0回	0回			
2年度	活動計画	各担当と連携できるよう努める。				進捗状況	
	活動実績	コア会議の回数はありませんが、庁内が連携できるように会議を実施している。				B	
	課題等	各担当同士の連携はとれているが、コア会議を開催していないため方針がずれないようにする。					
次年度の活動計画	今後も各担当と連携できるよう努める。						

### 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.47
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	研修を受講した職員がDVに対する認識や理解を深めることができる。						
指標	DV職員研修の実施回数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	<del>1回</del>					1回
実績	0回	1回	1回	1回			
2年度	活動計画	市民協働課、子育て支援課と共同で職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。					進捗状況
	活動実績	DV職員研修を実施。(52人参加) 講師：貝 ゆり 氏(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA)					A
	課題等	参加者の中には、DV被害者と接する機会がないと考える職員がいた。もっとDVについての理解を促し、被害者が市役所へ来た時に、どの課の窓口でも正しい対応ができるように今後も研修が必要である。					
次年度の活動計画	市民協働課、子育て支援課と共同で職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5、人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民課 No.47	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化							
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	職員が、住民情報の支援措置の制度を認識することで、DV被害者の個人情報が守られる。							
指標	—		指標の出典		—			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>					—		
実績	—	—	—					
2年度	活動計画	引き続き、関係課の職員へ説明会を実施する。					進捗状況	
	活動実績	説明会を実施した。(1回)					B	
	課題等	説明会の内容として、制度概要だけでなく、具体的な連携方法についても含めることにより、支援措置制度の認識を高める。						
次年度の活動計画	引き続き、住民情報の支援措置の制度について、関係課の職員へ説明会を実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和2年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.47
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	研修を受講した職員が、DVに対する認識や理解を深めることができる。						
指標	市職員向けDV研修の参加者数			指標の出典	社会福祉事務所新任研修受講者		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	<del>40人</del>					—
実績	40人	31人	55人	52人			
2年度	活動計画	社会福祉事務所新任研修を実施する予定はないため、全課対象の市職員向けDV研修を共同開催し、今後もDVに対する認識や理解できるように努める					進捗状況
	活動実績	外部講師を招き、DVの基礎知識やDV被害者への対応等について理解を深めることができた。					
	課題等	受講者の年齢や経験もさまざまであるため、DVに対する認識や基本的な理解に加え、実践的な対応方法を学ぶことができるような工夫が必要である。					
次年度の活動計画	全課対象の市職員向けDV研修のテーマや内容を関係各課と調整の上、決定し、今後もDVに対する認識、理解できるように努める。						

A